

令和5年度 多摩市立落合中学校 学校評価書

学校教育目標	
他を慈しむ心もち、自らの心を律しつつ次の時代を創造する生徒の育成「慈愛」「自主・自律」「創造」	
目指す学校像(学校経営ビジョン)	
①楽しい学校 ②安全で安心して生活できる学校 ③学力と体力の向上する学校 ④きれいな学校 ⑤信頼され自慢できる学校	
目指す子供像	目指す教師像
<ul style="list-style-type: none"> ・親切で、思いやりがあり、人の喜びを自分の喜びと思える慈愛に満ちた生徒 ・自分のことは自分で決めて、しっかり守れる生徒 ・学んだことから、さらに新しいことや新しいもの、新しい考え方などを創り出せる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に対する熱意と使命感を持つ教師 ・豊かな人間性と思いやりのある教師 ・生徒のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師 ・組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高めあう教師

【評語について】

自己評価			学校関係者評価	
評語	達成状況	成果指標	評語	自己評価の適切さ
4	申し分なく達成した	90%以上～100%	A	適切である
3	おおむね達成した	70%以上～90%未満	B	おおむね適切である
2	やや下回った	40%以上～70%未満	C	適切でない
1	大きく下回った	40%未満	D	評価は困難である

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

(1) 確かな学力の育成

重点目標	主体的に学習に取り組む態度の育成			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
3観点のうち「主体的に学習に取り組む態度」において、Cの生徒を20%以下にする	2	1年生は1教科、2年生は5教科、3年生は3教科について20%以上であった。授業改善を推進する。	B	先生方の授業力・指導力の素晴らしさがよく分かるが、「主体的に学習に取り組む態度」がCと評価されるのはなぜか、分析と改善がなされることで少しでも生徒の主体性が向上されることを期待する。
「わかった」「できるようになった」「授業が楽しい」と感じられる授業評価を80%以上にする	4	アンケート結果は90%が肯定的であった。今後も授業改善に取り組んでいく。	A	
各授業で発表の機会を増やし、プレゼンテーション能力を高める	4	各教科や総合的な学習の時間でまとめの発表をする機会を増やし力がついてきている。	A	
評価のまとめ	授業については肯定的な回答が高くなっている。主体的に学習に取り組む態度では昨年度と同様に2年生に課題が残った。学習内容が難しくなる頃であり、一人として取り残しがないように2年生での授業改善が必要である。			

(2) 豊かな心の育成

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚を磨き、いじめや偏見をなくし、豊かな人間性を育む ・自尊感情を高め、自己の価値を見いだせる生徒を育てる ・ボランティアマインドを醸成し、ボランティア活動ができる生徒を育てる 			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
道徳教育を充実し、人権感覚を磨き、いじめや偏見、差別意識を解消する	4	いじめはどんなことがあってもいけないことだと思うと95%が回答していた。引き続き朝礼や道徳で啓発する。	A	ボランティア活動の推奨を持続してほしい。様々な経験やつながりの中でバランスや尊重ができる環境があると良いと思う。学校と地域の連携を進めたい。特に生徒の意欲的な活動を推奨したい。また、みらい会議の成果を期待したい。
ボランティア活動を推奨し、自己の価値を見いだせる生徒を70%以上にする	3	自分には良いところがあると思うと76%が回答したが、地域行事等の参加は48%だった。今後もボランティア活動の参加を推奨していく。	B	
SDGsを踏まえた授業の実践を各学期に1回以上行う	4	各学年の取り組みと落合中みらい会議を学年縦割りのグループで行い成果がみられた。	A	
評価のまとめ	いじめについての意識は昨年度より高くなっているが、差別や偏見をなくし、多様性を受け入れるために、さらに人権感覚を磨く必要がある。社会貢献についての意識は昨年度に続き高かった。また、自尊感情についても昨年度に続き高くなってきている。			

(3) 健やかな体の育成

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送り、健康な体をつくる ・自ら運動を好んで行う態度を養い、自己の運動能力や体力を向上する 			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
スポーツ志向を高め、運動を好んで行う生徒を80%以上にする	3	体を動かしたりスポーツをすることが好きであると回答した生徒は79%であった。体育的行事等を通じてスポーツ志向を高める。	A	体を動かすことが健康で健全な心と体を作ったり維持につながることの認識をもっと高めたい。運動や食べることは健康維持、心身の健康に必須である。部活の充実や食の大切さを知る機会を増やす。全校で一斉に取り組む健康増進の活動(体力増進活動や保健の意識を高める活動など)を、企画運営する教職員組織づくりを行い、生徒の委員会活動等とともに活動するなどを考えてはどうか。
食育を推進し、給食残食率を20%に未滿する	4	副菜の方が残食率はやや高いが、平均して20%を下回った。今後も調査を続け啓発する。	A	
健康に対する関心を高め、主体的に健康を保持・増進する態度を養う。	3	健康を意識した生活を送っていると回答した生徒は74%であった。毎月の保健日より健康に関する講習会を計画的に行う。	A	

評価のまとめ	健康に関する意識が高まり、給食の残食率は下がってきている。スポーツ志向については昨年度より微増した。生涯にわたってスポーツに親しみ、運動を行う姿勢を身に付けさせるために啓発活動をさらに工夫する必要がある。
--------	--

(4) 家庭や地域との連携

重点目標	・学校公開や情報発信等により、保護者・地域に対する教育活動の理解推進 ・地域人材の活用による学習活動の活性化や環境美化の向上			
評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
保護者・地域アンケートで「教育活動の様子をわかりやすく伝えている」が90%以上	3	保護者アンケートで80%が肯定的であったが、道徳や教科カウンセリング、いじめの対応等について、わからないとの回答が30%を超えていた。さらに発信していく。	A	生徒の自治・主体に移行していく中学校では、保護者等の理解を得る難しさや大変さを感じる。保護者は小さなことから心配の種をふくませている。意識の差をあえて積極的に解消する努力が必要。それはある意味ではサービス精神、説明責任だと考えたい。対応等については結果でなく途中経過も知りたいのではないかと。学校運営協議会のメリットを多く発信してほしい。
教育連携コーディネータを活用した朝学習を週3回と土曜学習会を年間20回実施	4	地域学校協働本部の協力で、予定通り実施できた。また、放課後図書室の開放が実施できた。	A	
挨拶運動や花壇整備、環境美化推進を保護者・地域と連携して毎月1回以上行う	4	挨拶運動や花壇整備を保護者・地域の協力を得て計画的に実施できた。	A	
評価のまとめ	地域学校協働本部やPTAからの支援を受け、日々の教育活動や学校行事、環境整備などが円滑に行えている。学校行事や学校公開等で保護者や学校関係者の方に学校の様子を見ていただく機会を増やすことができた。			

2 次年度に向けた学校経営の方向性、課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も学校経営の基盤として「至誠天に通ず、生徒一人一人の面倒をよくみて、可愛がり、歩ませる」教育目標は「慈愛・自主自律・創造」とし、目指す学校像は①楽しい学校 ②安全で安心して生活できる学校 ③学力と体力の向上する学校 ④きれいな学校 ⑤信頼され自慢できる学校 とする。 ・生徒会活動をはじめ、生徒を積極的に全面に立たせ、自ら考え取り組む活動を増やしながらか教育目標の達成とともに目指す学校像に近づけたいと考える。 ・コミュニティ・スクールとして、保護者・地域との連携を強くして、学習指導や部活指導の協力を得て、働き方改革を推進する。 ・多摩市の4つの宣言・条例等（気候非常事態宣言・多摩市障がい者への差別をなくし共に安心して暮らすことのできるまちづくり条例・多摩市パートナーシップ制度・多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例）を踏まえながら、ESDの推進として、落合中みらい会議を全校生徒で行い、SDGsの内容を深め、提言をまとめて発表する。 ・ホームページや学校だより、各種通信等を通して、学校の様子をタイムリーに発信するとともに学校公開や保護者会、学校行事にできるだけ多く足を運んでもらい、落合中の教育活動に理解と協力を求める。 ・不登校生徒の対応として、サポートルームを開設し、巡回教員や地域と連携して運営を行い、不登校の解消を図る。

以上のとおり報告いたします。

令和6年3月8日

多摩市立落合中学校 校長 権藤 義彦

